平成24年度

学校経営の基本方針

京都市立深草小学校
校長 山田 正人

創立以来140年の輝かしい伝統と、優れた校風を受け継ぎ、未来に生きる子どもたちのための最も望ましい教育の方向を洞察し、深草小学校教育の開花を期する。

そのためには、教職員・児童・保護者・地域が一体となって英知と熱意を結集し、充実した教育活動を展開しなければならない。

また、教職員一人一人が自己啓発・相互啓発に努め、明確な目標と行き届いた計画に基づき、各学年・学級および各分掌間の緊密な連携のもとに、質の高い教育活動を推進することが大切である。

「確かな学力」の保障

1. すべての児童が「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業を目指し、指導方法や指導体制のさらなる工夫・改善を図る。
 2. 各学年で指導すべき基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、すべての児童に学習基礎の定着を図る。
 3. 学ぶ意欲と学びの力を高めるため、学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動や、学習した内容をさらに進化させる探究活動を充実する。
 4. 体験的活動や作業的活動等、多様な学習活動を取り入れ、主体的、協同的に問題を解決する学習を重視する。
 5. 家庭と連携して、家庭学習の充実を図る。
- ※ 学習するための約束やルールを一人一人の児童が確実に身につけ、すべての児童が安心して学習に臨めるよう、学習規律の徹底を図る。

「豊かな心」の育成

1. 道徳の時間において、人間としてのよりよい生き方を探究する力や道徳的実践力を育成する。
 2. 同和問題指導や人権学習をはじめとしたあらゆる教育活動を通して、人権問題解決に向けた実践的態度の基礎を培う。
 3. 宿泊学習をはじめとした豊かな体験活動等を通して、伝統と文化を尊重する心、共に生きるために大切な公共心や公德心、生命を尊重する心、感謝する心等を育成する。
 4. すべての学校教育活動を通して、自分を愛し、他の児童を愛する児童を育成する。
 5. 温かい家族のふれあいを通して、児童の心を豊かに育む。
- ※ 教職員一人一人が同和問題をはじめとしたすべての人権問題の理解と認識を深め、人権意識を高めるとともに児童一人一人をかけがえのない存在として尊重する。

「健やかな体」の育成

1. 体育学習及び運動部活動の充実を図り、運動能力及び体力の向上に向けた取組を推進する。
 2. 食事、運動、休養・睡眠の調和のとれた望ましい生活習慣を確立する。
 3. 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育等の取組の充実を図る。
 4. 学校給食を「生きた教材」として食に関する指導を推進し、望ましい食習慣を養う。
 5. 安心・安全な食品を選択する力や食に関わる人々・食材への感謝の心を育成する。
- ※ 家庭との連携を通して、基本的生活習慣の確立を図る。

すべての教育活動の根幹となる家庭との連携の重視